

文芸協 すざか

第42号

発行所
須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町747
須坂市生涯学習センター内
TEL(026)245-1598 FAX(026)246-3906

印刷所：ヒタキ印刷株式会社

心に潤い、心の糧

須坂市文化芸術協会会長

花房 多都蔵



この度、5月17日の定期理事会において3期目の会長に就任させていただきます。

した。少子高齢化・新型コロナウイルス感染等大変厳しい状況下ではありますが、会員の皆様のご協力を賜り文化芸術協会の発展に微力ながら努めさせていただく所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、1年前の5月、世界のコロナ感染者は約六百万人でした。しかし、今年の5月にはその数約1億7千万人であり、死亡者は三百五十万人にもおよびます。このような生命と健康を脅かす新型コロナウイルスが、1日も早く終息し平穏無事な暮らしに戻ることを切に願うばかりであります。

そうした中、桜咲く4月には感動する出来事がありました。それは白血病を克服してオリピック出場を決めた競泳の池江璃花子選手と、ゴルフの世界4大メジャー大会の1つであるマスターズに日本人として初めて優勝した松山英樹選手です。私はこの2人の快挙に感動して涙が止まりませんでした。どちらもスポーツ界での遺産ですが「努力は必ず報われる」という池江選手の言葉の重みに心を

打たれました。何としてもコロナが縮小して東京五輪を開催してもらいたいものでございます。

ところで、昨年度の当協会が開催した主な事業は、中央公民館との連携講座である6講座と第58回須坂市民文化祭でした。コロナ禍の中、感染防止対策を十分に行った上で市民文化祭が無事開催できましたことに、ほっと胸を撫で下ろしました。会員の皆様のご努力とご協力に心から感謝を申し上げます。

そして、今年度もコロナ禍ではありますが6講座の開催を予定しており、また10月の第59回須坂市民文化祭については耐震工事のためメセナホールは使用できませんので、生涯学習センター（中央公民館）にて開催いたします。その他に議員懇談会や昨年開催できなかった文芸協新年交流会、小布施・高山文化協会との須高文化交流会なども計画しております。しかしながら厳しいコロナ禍の現状において、何れの事業も開催できるかどうかは不透明であります。大切な事は会員それぞれが目標を持って今できる事を地道に行うことです。「なせば成るなせば成らぬ」の精神で芸と術を学び、このコロナの難局をみんなで乗り越えましょう。文化芸術は心に潤いを与え、心の糧となるものであります。感動こそとても良い免疫だと思います。

役員改選による新体制のもと今後とも文化芸術の発展と地域の活性化に寄与してまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和3・4年度

須坂市文化芸術協会役員

会長 花房多都蔵
花房多都蔵社中(芸能)

副会長 兼 謡曲部長 青木日出雄
一謡会(謡曲)

副会長 兼 音楽部長 永山 浩
カモミール(音楽)

副会長 兼 芸能部長 市村 文男
無想伝心碧洲流(芸能)

副会長 兼 展示部長 高橋美恵子
宏道流・望月(展示)

副会長 兼 茶席部長 北原 勲
石州流(茶席)

会計 高坂恵美子
朋友バレエ(芸能)

事務局長 牧 隆
須坂宝生会(謡曲)

幹事 村石 勇
晃翔流吟道会(芸能)

監査員 橋本 明夫
すみさか民謡会(音楽)

監査員 金箱 文子
宏道流・渡邊(展示)

引き続き文化芸術の力を

須坂市長 三木 正夫



須坂市文化芸術協会の皆様におかれましては、日々の文化芸術活動を通じて、本市の文化芸術振興と発展に寄与いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響は、日常生活や経済活動、文化芸術活動にも引き続き及んでいます。市民の皆様には感染症予防のために様々なご協力をいただくと共に、市の施設についても予防対策や一定の制限をさせていただく中で、皆様の稽古や発表などの場にも支障をきたしているかと推察します。現在、文化芸術の振興には大変困難な状況であります。文化芸術は

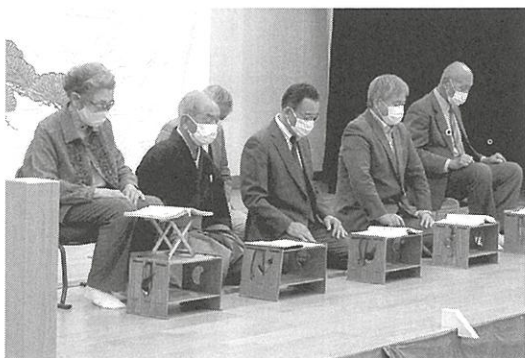
長い歴史の中で幾多の苦難を乗り越えながら、いにしへの伝統を受け継ぎ、今日まで保存、継承と発展を繰り返してきました。いつの日か、文化芸術の持つ「力」は、この難局をも乗り越えていくものと信じております。

本市は「文化芸術を核とした『まちづくり』」と指しており、昨年度から「まると博物館構想」を核とした『人・地域資源』で紡ぎだすまちの元気創出事業」を、市民の皆様との共創による委員会を設立して推進しております。花房会長様には委員として参画いただいておりますことにも感謝申し上げます。あわせて文化芸術協会の皆様におかれましては、仲間を増やし、活力ある文化の薫り高い須坂市の実現に向け引き続きご尽力を賜りますようお願いいたします。

令和2年度 第58回 須坂市民文化祭 から



音楽祭 (正派雅尚会)



謡曲会 (観世講座の会)



芸能祭 (朋友バレエ)



展示会



芸能祭(照岳流吟剣詩舞道会)

結びに花房会長様はじめ会員の皆様のご健勝と須坂市文化芸術協会の益々のご発展を祈念申し上げます。



文化芸術による希望

須坂市文化スポーツ課長 田中 賢一

須坂市文化芸術協会の皆様におかれましては、日ごろから市の文化行政にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。日々の活動により文化芸術振興に寄与いただいておりますことにも感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は、文化芸術活動にも引き続き及んでいます。先日、都倉俊一・文化庁長官の声明が反響を呼びました。声明では「感染拡大のリスクを抑えながら文化芸術活動を継続することは不可能ではない」とし、「文化芸術活動の休止を求めることは、あらゆる手段を尽くした上での最終的な手段であるべきと考えます」という見方を示しました。さらに「このような未曾有の困難と不安の中、私たちに安らぎと勇気、明日への希望を与えてくれたのが、

文化であり芸術であつたということです。文化芸術活動は、断じて不要でもなければ不急でもありません。このような状況であるからこそ、社会全体の健康や幸福を維持し、私たちが生きていく上で、必要不可欠なものであると確信しています」と結びました。このメッセージに対して、「心打たれた」、「有り難い公式見解」などと大きな反響が寄せられたということです。このような状況下ではありますが、協会の皆様におかれましては、文化芸術活動による仲間づくり、まちづくりに引き続きご尽力を賜りますようお願いいたします。

結びに会長様はじめ会員の皆様の伝統文化、芸能の保存と継承に敬意と感謝を申し上げますとともに、皆様のご健勝と、協会のご発展を祈念申し上げます。

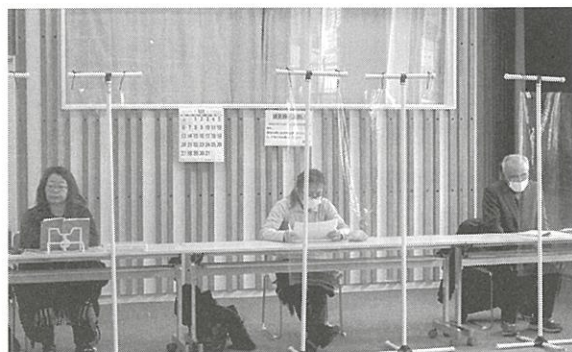
令和2年度 文化芸術講座



楽しい生け花（宏道流・渡邊）



尺八令和2020（尺八令和）



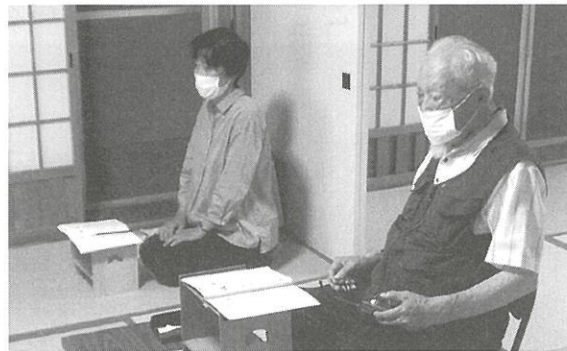
さわやか謡曲講座（観世流）



気軽に楽しむ日本舞踊（藤勢津会）



茶道入門（石州流）



仲間づくり謡曲塾（宝生流）

文芸協と私
①

芸能祭と私達

神洲流須高吟道会 黒岩 静子



令和二年度の須坂の文化最大事業の一つ、芸能祭の開催がコロナ禍にて、発表するに当たり賛否両論があり、会議の中に難題となりました。ほとんどのイベント中止やら三密の中で練習にも心配があり、返事はしたものの責任がとれない中でしたが、会員の皆さんの協力により、発表

に到りました。文芸協事務局さんによる感染防止対策を充分とって頂き、無事終わりました。私達も詩吟の発表のみでなく日本舞踊・ダンス音楽等又可愛い子供達のバレーと、一日楽しく過ごさせて頂き、元氣が出ました。来年もコロナが終息し、さらに安心して舞台上に立てたらと思います。

神洲流も昭和

二十二年に詩吟愛好家により結成され初代宗家塩澤神洲先生から三代まで続き私達は励んで参りました。その教えの中で師範の先生になり今日私達を教えてくださいました。芸能祭には素晴らしい構成吟の発表も出来ました。ここに懐かしい写真もあり掲載させて頂きます。

文芸協と私
②

謡曲と私

須坂宝生会 牧 隆

謡曲と出会ったのは、たしか二十歳ごろだったと記憶している。当時は長男であれば、消防団、お祭りの会に入り青春を楽しんでいたころでした。たまたま、叔父が謡曲の先生をしていたこともあり、先輩から誘われ、断ることもできず今日に至っています。



最初のころは、声が出ない、節がわからない、先ず何より文字が読めない、ひらがなですらフリガナを振る始末でした。人間慣れというものはどうでしょう、そのうち不思議と分かるようになるんですね。今では当たり前のように理解して向かい合うことができています。伝統文化である能楽に触れることによつ

て、日本の文化を再認識し、またその歴史に触れたりして、改めて自分というものを知ることができると感じています。今後も楽しく付き合いたいと思います。できれば同じ楽しみを共有できる人が一人でも多く増えれば、と思います。まず健康、そして年をしても楽しめることに感謝しています。

文芸協と私
③

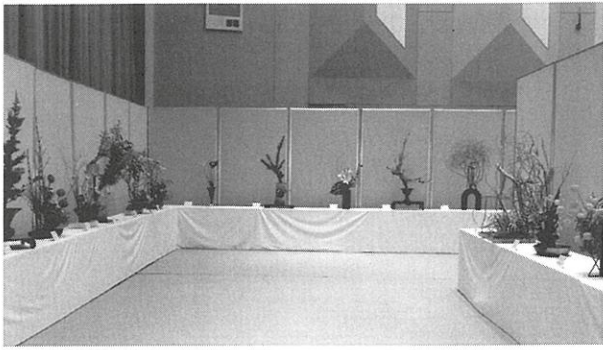
音楽と私

カモミール 永山 浩

「コロナ禍」という言葉に世界中がどれだけ振り回されたことでしょうか？ 僅かな期間のうちに生活様式は一変し、萎縮した経済は個人にまで影響を及ぼしました。見えないものに對する恐怖心は深刻で、私共が日頃から行っていた高齢者施設への訪問演奏は皆無となり、一時的であつたものの飛沫の懸念から楽器演奏の団体への練習施設貸出の見合わせなど、心の栄養となる文化活動すらままならなくなりました。そんな中でも活動の場の提供を模索して下さる文芸協があつてこそ、厳しい日常の中でも気持ちが保てました。

展示部や茶席部は芸術や文化を、謡曲部・音楽部・芸能部





文芸協と私

④

いけ花と私

宏道流(渡邊) 金箱 文子

理事をお引き受けし
てから三年が過ぎまし
た。多くの方々とお会
い、たくさんのお事を学
ばせていただき感謝し
ております。

文化祭では、毎年当
たり前のように花を展
示させていただいてき
ました。しかし、一昨
年は台風により大きな
被害が出て、被害に遭

われた方の事を思い、
どの様に文化祭を開催
したらよいか意見を出
し合いました。又、昨
年は新型コロナウイルス
の流行で、文化祭の
開催そのものが危ぶま
れ、参加することも悩
みましたが、お花を生
け、少しでも見に来て
いただける場があった
ことに、改めて感謝い
たしました。

昨年は中止になっ
てしまいました。が、
いけ花体験教室にお
声がけした若い女性
が、嬉しそうにお花
を持ちかえられた笑
顔が忘れられません。
これから多くの方
々をお誘いし、い
け花の楽しさと、文
化芸術の素晴らしさ
を皆さんとともに、
少しでも伝えていけ
たらと、思っていま
す。

文芸協と私

⑤

文芸協とバレエと私

白鳥バレエ学園
須坂教室 林 愛子

新型コロナウイルス
が全世界に猛威を
ふるい、国内で緊急
事態宣言が発令され
てから一年余りが経
ちました。バレエを
はじめとしたあらゆ
る芸術活動の自粛を
余儀なくされた一年
でしたが、オンライン
での芸術活動の可
能性を見出すことが
できた一年でもあり
ました。

現在もまだ感染は
続いており感染予防
に努めながらではあ
りますがレッスンは
できること、市民文
化祭をはじめとした発
表の場があるというこ
とを大変有り難く感
じています。毎日のよ
うに暗いニュースが流
れる中レッスンに行く
と様々な年代の生徒
さんと体を動かすと
気持ちで家へ帰るこ
とができます。



これから世界はどう
なっていくのか分か
りませんがレッスンが
できることを当たり
前だと思わずに先生
方、後援会の方々、
支えてくださって
いる全ての方に感
謝をしながらまた
今日もレッスンへ向
かいたいと思います。

第59回 須坂市民文化祭

謡曲会

10月30日(土)

生涯学習センター
3階ホール

音楽祭

10月17日(日)

生涯学習センター
3階ホール

展示会

10月16日(土)
17日(日)生涯学習センター
3階ホール

芸能祭

10月24日(日)

生涯学習センター
3階ホール

茶室

10月17日(日)

生涯学習センター
2階茶室

令和2年度 須坂市文化芸術協会決算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

収入金額	882,204円
支出金額	811,902円
差引残高	70,302円 (次年度繰越金)

収入の部

単位・円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	60,102	60,102	0	前年度より繰越
会費	790,000	364,000	△426,000	35団体×3,000円 501人×500円 文化祭参加費17人×500円
補助金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑収入	10,000	8,102	△1,898	祝儀等・普通貯金利息
合計	1,310,102	882,204	△427,898	

支出の部

単位・円

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	15,000	12,748	△2,252	役員会、理事会、監査、冷暖房費等
渉外費	10,000	5,000	△5,000	須高書道大会
普及活動費	50,000	17,547	△32,453	子どもわくわくフェスティバル 連携講座
通信・事務費	37,000	30,363	△6,637	コピー用紙、コピー代、はがき代等
負担金	45,000	1,500	△43,500	観世流素謡会
役務費	38,000	38,000	0	
事業費	1,085,000	694,771	△390,229	市民文化祭、その他
内 名簿・会報	83,000	77,580	△5,420	
内 広告	75,000	57,810	△17,190	
内 プログラム	145,000	88,138	△56,862	
内 謡曲部	46,000	43,000	△3,000	
内 音楽・芸能部	346,000	368,185	22,185	
内 展示部	58,000	54,058	△3,942	個人会費含む
内 茶席部	20,000	6,000	△14,000	
内 その他事業	312,000	0	△312,000	行政懇談会、新年交流会、 須高文化交流会
特別事業積立金	20,000	10,000	△10,000	
予備費	10,102	1,973	△8,129	手指消毒液
合計	1,310,102	811,902	△498,200	

特別事業積立金 150,045円 前年度 繰越金 140,045円 本年度 積立金 10,000円
(次年度へ繰越)

令和3年度 須坂市文化芸術協会予算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入金額	1,197,302円
支出金額	1,197,302円
差引残高	0円

収入の部

単位・円

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
繰越金	70,302	60,102	10,200	前年度より繰越
会費	667,000	790,000	△123,000	34団体×3,000円 470人×500円 議員懇談会、新年交流会、須高文化交流会等
補助金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑収入	10,000	10,000	0	祝儀等
合計	1,197,302	1,310,102	△112,800	

支出の部

単位・円

項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会議費	15,000	15,000	0	役員会、理事会、監査、冷暖房費等
渉外費	10,000	10,000	0	須高書道大会、市スポーツ協会
普及活動費	48,000	50,000	△2,000	子どもわくわくフェスティバル 連携講座
通信・事務費	37,000	37,000	0	コピー用紙、コピー代、はがき代等
負担金	40,000	45,000	△5,000	須高文化交流会、各種大会
役務費	36,000	38,000	△2,000	
事業費	951,000	1,085,000	△134,000	文化祭、その他
内 名簿・会報	80,000	83,000	△3,000	
内 広告	60,000	75,000	△15,000	
内 プログラム	100,000	145,000	△45,000	
内 謡曲部	40,000	46,000	△6,000	
内 音楽部	60,000	76,000	△16,000	
内 芸能部	260,000	270,000	△10,000	
内 展示部	53,000	58,000	△5,000	個人会費含む
内 茶席部	18,000	20,000	△2,000	
内 その他事業	280,000	312,000	△32,000	議員懇談会、新年交流会、 須高文化交流会
特別事業積立金	10,000	20,000	△10,000	
予備費	50,302	10,102	40,200	
合計	1,197,302	1,310,102	△112,800	

令和3年度 須坂市文化芸術協会事業計画

期日	事業	内容	場所
4月5日(月)	役員・常任理事会	定期理事会付託議案審議	生涯学習センター
4月5日(月)	編集委員会	発行までのスケジュール確認	生涯学習センター
5月13日(木)	連携講座開始	各部6講座	生涯学習センター
5月17日(月)	定期理事会	決算報告・事業計画など	生涯学習センター
5月31日(月)	編集委員会	校正	生涯学習センター
6月21日(月)	役員常任理事会	第1回理事会付託議案審議	生涯学習センター
6月30日(水)	第1回理事会	予算ほか	生涯学習センター
7月24日(土)	カッタカタまつり	中止	
9月2日(木)	役員・常任理事会	第2回理事会付託議案審議	生涯学習センター
9月13日(月)	第2回理事会	議員懇談会・市民文化祭・子どもわくわくフェスティバル他	生涯学習センター
10月16日(出)・17日(日)	第59回市民文化祭	展示会	〃 3階ホール
10月17日(日)		音楽祭	〃 3階ホール
10月17日(日)		茶席	〃 2階茶室
10月24日(日)		芸能祭	〃 3階ホール
10月30日(土)		謡曲会	〃 3階ホール
11月6日(土)	議員懇談会	議員各位と文芸協の質疑応答	生涯学習センター
12月5日(日)	第11回子どもわくわくフェスティバル	子ども達の舞台発表	〃 3階ホール
12月13日(月)	常任理事会		生涯学習センター
令和4年			
1月24日(月)	役員会	新年交流会、須高文化交流会	生涯学習センター
2月5日(土)	文芸協新年交流会		生涯学習センター
2月28日(月)	役員会	須高文化交流会など	生涯学習センター
3月	須高文化交流会	須坂・小布施・高山文化交流	生涯学習センター
3月15日(火)	役員・常任理事会	当年度事業及び決算報告・次年度事業計画 他	生涯学習センター
3月下旬	会計監査	令和3年度事業・収支監査	生涯学習センター

編集後記

昨年度より二年続いた新型コロナウイルス感染症拡大で、今までの経験をした事が無い状況の中での文芸協活動ですが、こんな時こそ皆で知恵を出し合い、文化芸術の灯を後生につなげる為に、この思いで文芸協だよりを作成いたしました。

〈編集委員〉市村 文男・高橋美恵子
高坂恵美子
北原 勲・永山 文子
青木 日出雄・金箱 隆
広間 軌子
市村 文男・高橋美恵子
に感謝申し上げますと共に、
会員皆様の御多幸を心よりお
祈り申し上げます。(市村)